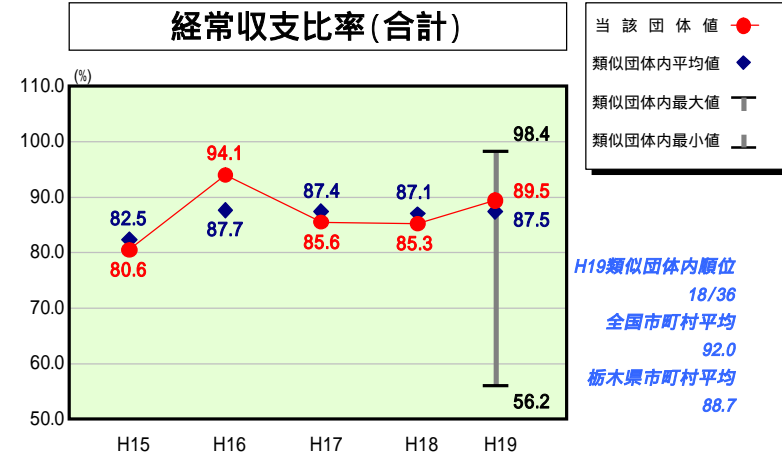


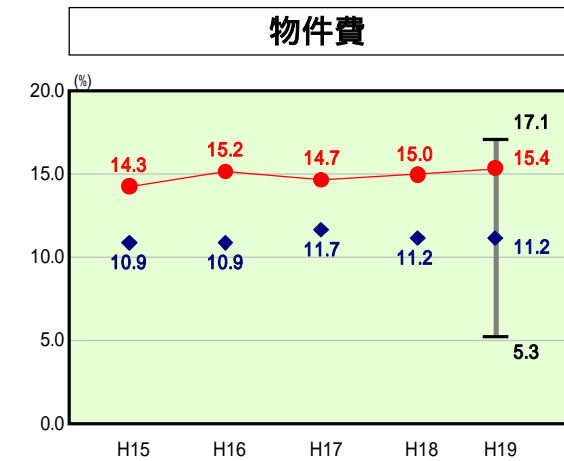
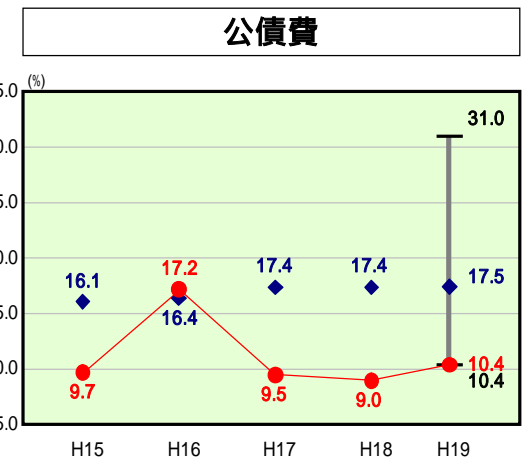
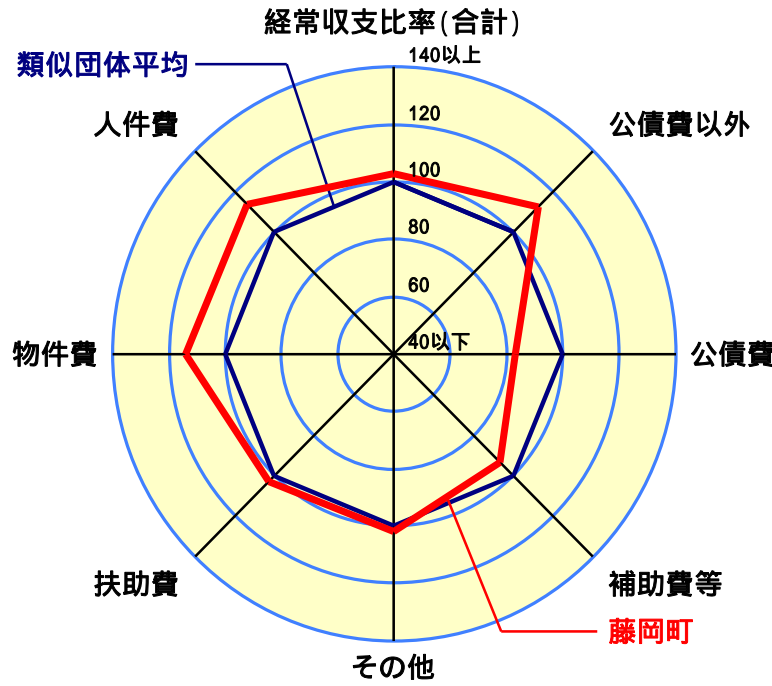
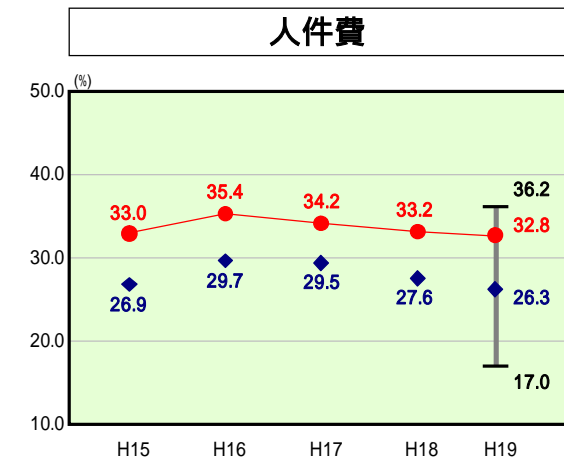
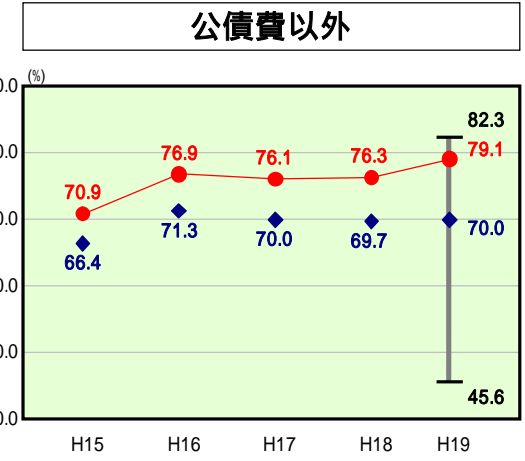
# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 藤岡町

## 経常収支比率の分析



人口	17,983人(H20.3.31現在)
面積	60.45 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,179,106千円
歳出総額	4,797,663千円
実質収支	343,531千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**【人件費】**  
 人口1,000人当たりの職員数が類似団体と比較してやや高いが、集中改革プランの取り組みにより改善を図り、人件費の削減に努める。

**【物件費】**  
 物件費に係る経常収支比率が類似団体に比べ高くなっているのは、当町は施設が多く、その維持管理に経費がかかっているためである。今後は経費の削減に努めると共に、施設の統廃合や指定管理者の導入も検討する。

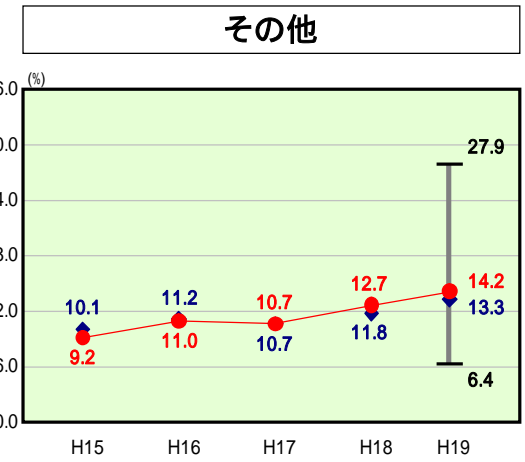
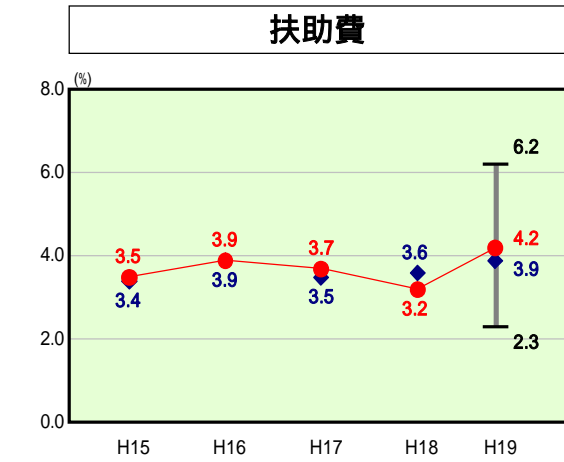
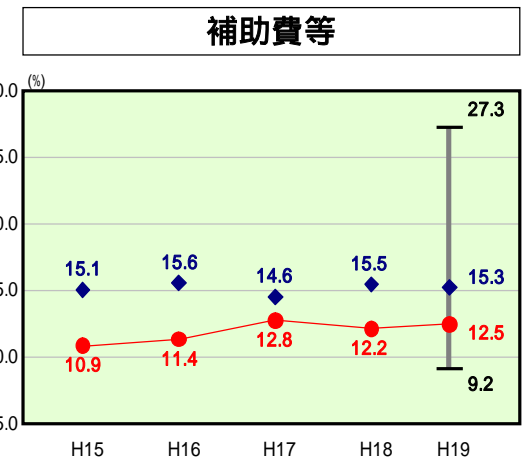
**【扶助費】**  
 扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、児童手当制度の拡充などが要因と考えられる。今後は、町単独事業の見直し等により経費節減を図っていく。

**【補助費等】**  
 類似団体と比較すると、補助費等に係る経常収支比率は低くなっている。今後も引き続き町単独補助金等について、積極的に見直し検討を行っていく。

**【公債費】**  
 類似団体と比較すると、最も低い経常収支比率となっている。しかし、今後、公営企業の元利償還金に対する繰入金などの準元利償還金を含めたベースでは増加が見込まれるため、新規発行を伴う普通建設事業は抑制していく。

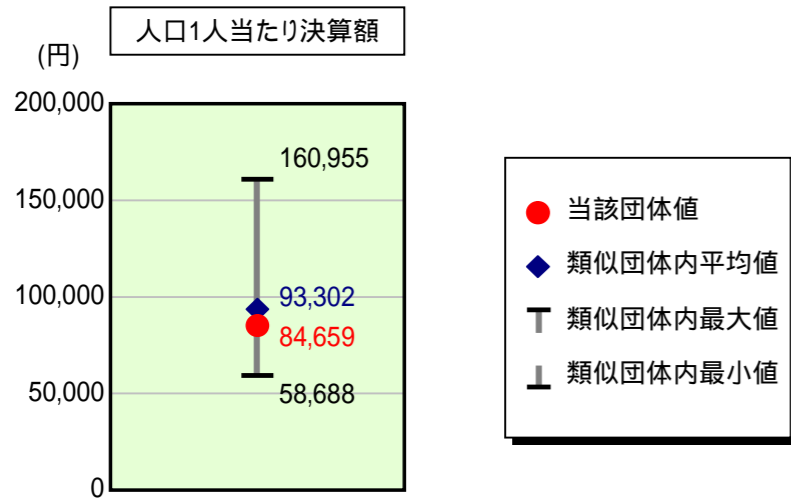
**【その他】**  
 その他に係る経常収支比率が類似団体を上回っているのは、特別会計への繰入金が大きな要因と考えられる。特に下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計への繰入金、他の類似団体と比較して多い。今後は、水酸化率の向上による使用料の増収と、業務内容の見直しによる経営の合理化、経費の節減を図り、普通会計への負担を減らしていく。

**【普通建設事業費】**  
 普通建設費の人口一人当たり決算額は、類似団体平均値を下回っている。前年に比べ大きく減少したのは、道の駅整備事業などが終了したためである。今後も税収の大幅な増加が見込めない状況であり、引き続き普通建設事業費の抑制に努める。



# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

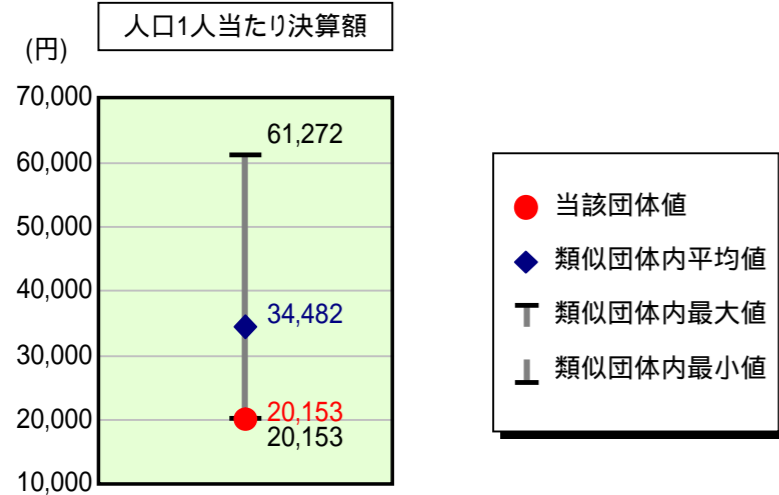
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	1,360,721	75,667	77,329	2.1
賃金(物件費)	76,036	4,228	5,043	16.2
一部事務組合負担金(補助費等)	129,272	7,189	13,599	47.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	652	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	82,212	4,572	3,478	31.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	12,295	684	1,414	51.6
退職金	138,111	7,680	8,215	6.5
合計	1,522,425	84,659	93,302	9.3

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.90	8.80	0.10
ラスパイレス指数	91.5	94.3	2.8

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

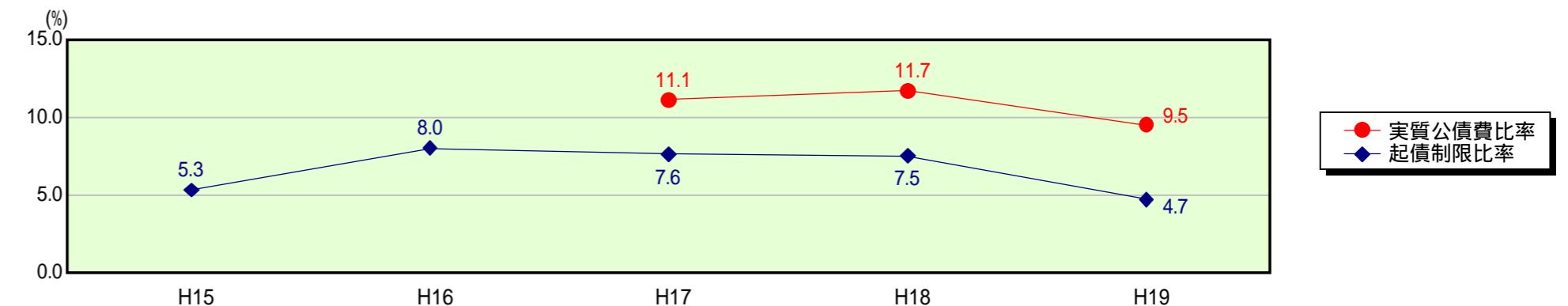


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	398,630	22,167	45,477	51.3
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	228,834	12,725	17,571	27.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	116,772	6,493	7,012	7.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	-	-	2,997	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	17	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	381,818	21,232	38,593	45.0
合計	362,418	20,153	34,482	41.6

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

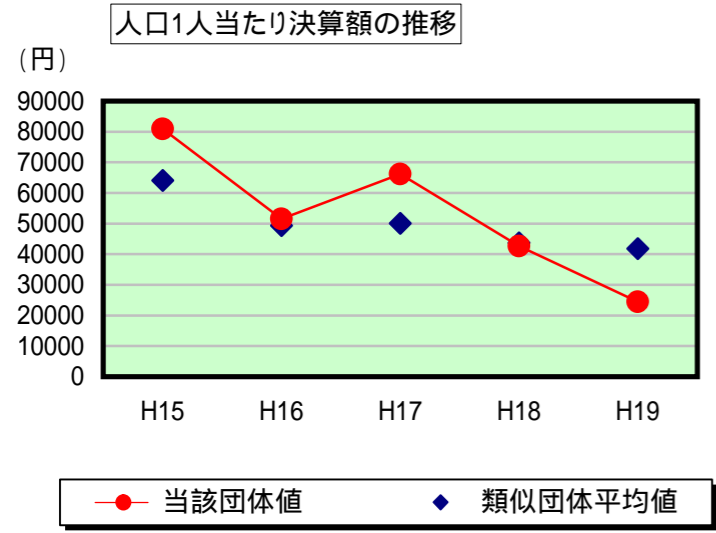
### 参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

栃木県 藤岡町

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	1,526,546	80,911	81.4	64,071	8.0	89.4
うち単独分	1,091,534	57,854	34.4	47,064	0.8	33.6
H16	958,500	51,549	36.3	49,314	23.0	13.3
うち単独分	858,061	46,147	20.2	33,272	29.3	9.1
H17	1,214,319	66,147	28.3	50,081	1.6	26.7
うち単独分	866,648	47,208	2.3	32,308	2.9	5.2
H18	774,240	42,684	35.5	43,735	12.7	22.8
うち単独分	713,342	39,326	16.7	26,982	16.5	0.2
H19	438,974	24,410	42.8	41,791	4.4	38.4
うち単独分	380,410	21,154	46.2	25,330	6.1	40.1
過去5年間平均	982,516	53,140	1.0	49,798	9.3	8.3
うち単独分	781,999	42,338	9.3	32,991	10.8	1.5